

令和4年度
教育委員会事務事業の点検評価結果
最終報告書

令和5年7月
安八町教育委員会

I はじめに

1 教育委員会事務事業の点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が平成19年に一部改正され、教育委員会の事務の管理執行状況について、自己点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表することとされました。また、点検・評価を行う際には、学識経験者の知見の活用を図ることも規定されています。

そこで、当委員会としては、次年度の事務執行に資するため、当該年度の事務について自己点検及び評価を行い、点検報告書としてまとめ報告いたします。

(参考)

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第2項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 点検・評価の実施方法について

1 評価の対象

教育委員会が令和4年度に実施した事務事業の中から主要なものを抽出し評価を実施する。

- ・教育委員会の活動状況：教育委員会会議の実施状況、調査活動の状況等
- ・教育委員会の事務事業：安八町教育計画に掲げる重点目標の執行状況及びその成果
- ・前年度の点検評価結果への対応状況：前年度の点検評価結果において次項による達成度の評価がCまたはDとされた事務事業等に対する対応の状況

2 評価の進め方

①一次評価

各学校及び安八町教育計画重点目標に対する評価を行い、その結果を踏まえて事務局各課がその所管する事務事業等について第一次評価を行う。

②二次評価

一次評価をもとに、評価委員により二次評価を実施する。

評価委員 4名	学識経験者	渡邊 二郎 様
	学校関係者代表（安八町校長会長）	辻村 由香里 様
	保護者代表（安八町PTA代表）	赤尾 徳雅 様
	安八町教育長職務代理者	臼井 智美 様

③最終評価

教育委員会は、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、最終評価を実施し報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表を行う。

3 評価の基準

点検評価においては、次の4区分により達成度の評価を行う。

評 定		評 価 区 分
A	75%以上	順調に達成しているもの
B	65%以上75%未満	おおむね順調に達成しているもの
C	55%以上65%未満	達成見込みであるが課題があるもの
D	55%未満	順調でないもの

(平成30年度改定)

III 評価結果の概要

1 教育委員会の活動状況

教育委員会会議の実施状況・・・(A) 順調に達成している

調査活動の状況等・・・・・・・・・・(B) おおむね順調に達成している

2 事務事業の執行状況

主な施策・事業より21の事業を対象に点検評価を実施した。

評価の結果は、以下の通り。

- (A) 順調に達成しているもの・・・・・・・・・・ 9事業／21事業中
- (B) おおむね順調に達成しているもの・・・・・・・・ 6事業／21事業中
- (C) 達成見込みであるが課題があるもの・・・・ 6事業／21事業中
- (D) 順調でないもの・・・・・・・・・・・・・・・・ 0事業／21事業中

3 点検評価結果の内容について

◇教育委員会の活動状況について

点検項目	実 績	成 果 (○) と 課 題 (▲)	評価
安八町教育委員会 会議の実施状況	1. 教育委員会定例会議12回 臨時会議 1回 <臨時会議の内容> ・教務主任等承認について <審議継続中> ・教育大綱について ・地域クラブ活動移行 2. 安八町総合教育会議 2回 町長・副町長 教育長・教育委員 事務局：教育委員会、福祉課	○毎月の定例会において、協議等を確実に実施できた。児童生徒の問題行動については、問題行動の背景を知ること、一人一人に応じた指導を行うことの重要性についてアドバイスを受けることができた。 ○不登校児童生徒への対応については、ハートピア児童館内に不登校児童生徒支援室(ほほえみ教室分室)を新たに設置した。施設を視察し、助言を受けることができた。 また、中学校で出現する不登校の要因については、教師の関わり方が重要であることについてご指摘いただいた。 ○地域クラブ活動への移行については、学校教育課と生涯学習課の双方が協力して、「部活動地域移行準備委員会」を立ち上げ、毎月1回程度の話し合いをもち、地域移行に向けて協議している内容を報告し、無理なく移行できる方法について助言を受けることができた。 ○4月は、対面で話を聞く学校1校とオンラインで研修する3校の形を取り、「子どもたちが笑顔で主体的に立ち向かう	A

点検項目	実 績	成 果 (○) と 課 題 (▲)	評価
	<p>3. 教育委員の学校訪問 学校訪問等で、年1回定期的に実施</p>	<p>授業」に向けて、具体的な方途について、学ぶことができた。</p> <p>○2回目は、各校の校長が学校経営の方針について説明し、各校のめざす姿の具体像について、共通認識をもった。また、安八町の教育課題の解決に向けての具体策について意見交換ができた。</p> <p>○コロナ禍ではあったが、町内の4校の全ての学校を訪問し、児童生徒の様子や教員の教科指導、生徒指導のあり方について助言を受けることができた。</p> <p>○情報教育の現状を見ていただき、低学年もタブレットを積極的に活用している様子や教師が ICT 機器を駆使して活用している様子について見ていただくことができた。</p>	
調査活動の状況等	<p>○町の教育委員会視察 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止</p> <p>○教育委員研修の参加 ・11月岐阜県市町村教育委員連合会研究総会研修会</p> <p>○町内学校訪問や校長との懇談 ・10月に各校1回実施</p> <p>○教育研究大会の参観 ・10月19日(水)名森小学校</p> <p>○学校等諸行事の参観 ・1月はたちを祝う会 ・3月卒業式 4月から12月については、教育委員会からの出席は自粛した。</p>	<p>○県内各校から参加した教育委員の方と地域部活動移行に向けての取組状況やGIGAスクール構想導入と共に、コロナ禍で一層進んだタブレット等の活用について意見交流ができた。</p> <p>▲各校の訪問では、学校によって、児童生徒の授業に向かう姿勢にやや違いが生まれており、安八町が目ざす教育の姿について意見交流した。</p> <p>○名森小学校で行われた安八町教育委員会指定研究発表会では、「言語能力を身に付けて、生き生きと話し合う子の育成」を研究主題とし、国語科において、交流する場面を位置づけ、交流が活性化するための具体的な手立てや授業構成の工夫を示した。</p> <p>○音楽会など行事を中止するのではなく、児童生徒のアイデアや願いを大切にしながら、コロナ禍でも可能な方法を模索して実施することができた</p> <p>○1月からは出席人数を限定して、行事を参観することで児童生徒の成長の姿をまじかに感じる事ができた。</p>	<p style="text-align: center;">A</p>

◇事務事業の執行状況について（教育計画の評価）

＜学校教育＞

領域	重点目標	成果（○）と課題（▲）	評価
1. 学校運営	全教職員が協力して活力ある学校経営をする	<p>【令和3年度課題】 ▲時間は減ってきているが、業務量が減っているとは言えず、業務の精選、削減をしていく。 対策：「すぐメール」の活用により、印刷にかかる業務が減っている。スクールサポートスタッフの派遣により、消毒や印刷などの業務を削減する。 ▲学校評価の結果を分析し、指導改善に向けて家庭や地域に積極的に情報を提供していく。 対策：アンケート等を通して保護者の意見を取り入れ、授業を改善し、ホームページ等で子どもの様子を公開する。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○小学校では英語・音楽・理科・社会等について、教科担任制を取り入れ、学級担任が空き時間を確保できた。 ▲学期始めや行事などの繁忙期において、月平均45時間を超過することがあるため、計画的な業務遂行が必要である。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">81.4%</p>
2. 研修	自己の課題を明確にし、主体的に研修を進め、確かな指導力を身に付ける	<p>【令和3年度課題】 ▲ICTを活用した授業をより一層促進するために、教科部会や町内等で実践例を共有したり、外部の専門機関の研修を実施したりして、ICTの利活用に関わる指導力の向上を高めていく。 対策：ICT担当教師によるICTの活用例から学んだり、本やネットでの活用実践を参考にしたりして、資質向上に努める。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○いじめ、不登校、学力向上など、様々な分野で計画的に研修を行い、組織的に指導力を高めることができた。 ▲職員の資質向上を計画的に行い、すぐに使える実用的な研修やキャリア形成に繋がる研修を実施していく必要がある。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">78.4%</p>
3. 教科指導	基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育て、学力向上を推進する	<p>【令和3年度課題】 ▲お互いの見方や考え方を学び合うことができるように、交流活動の視点を明確にしたり、発問を工夫したりする。 対策：全ての時間において、生徒自身に課題を立てさせ、児童生徒が課題を解決するために視点と見通しをもって活動させる。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○「〇〇学校の授業はこれだ」というように、職員全員が共通して大切にする指導のポイントを明確にして、組織で付けるべき力を高めることができた。 ○各校でICTの使用について教職員研修を実施し、積極的に学習の中で活用した。 ▲児童生徒が主体的に授業に参加できるように学ぶ必然性のある課題設定や児童生徒に「できた・分かった」を実感させる授業を工夫する必要がある。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">77.9%</p>

領域	重点目標	成果(○)と課題(▲)	評価
4. 道徳教育	自己を見つめる力と他を思いやる心をもち、かけがえない自他の生命を尊重する心を育てる	<p>【令和3年度課題】 ▲教師間で積極的に道徳の授業を公開し、学校全体として「考え、議論する道徳の授業」への指導力を高める必要がある。 対策：優れた模範授業を全職員で参観し、具体的な指導法を学ぶ。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○校内研修等でお互いに授業を公開しあい、全校で統一した道徳の授業を行うことにより、組織が一丸となり子どもたちに自己を見つめる力を身に付けさせることができた。 ▲道徳の授業で高めた価値を日々の生活の中で実践させ、他者を思いやる心の行動化を図る必要がある。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">B</div> 71.9%
5. 小学校 外国語活動	外国語を通じて、コミュニケーション能力の素地を養う	<p>【令和3年度課題】 ▲英語専科以外の学級担任が指導力を身に付けるための校内研修の充実を図る必要がある。 対策：校内研修を行い、英語科で目指す姿や授業計画の流れなどについて、教職間で情報共有を図り、共通の認識をもって授業を行う。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○ALTの発音を聞いて学習を進めているため、子どもたちが主体的に英語でコミュニケーションを図る態度を育成できた。 ▲小中学校の外国語授業における各学年の到達目標を作成し、子どもたちが小学校の段階で身に付けるべき力を明確にする必要がある。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">A</div> 78.5%
6. 総合的な 学習の時間	探究的な学習をとおして、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる	<p>【令和3年度課題】 ▲学んだことを自己表現する活動、自分の学びを見つめ直す活動を位置付け、学びを深化させていくことが必要である。 対策：児童生徒の学びにおいて自己表現させ、学びを深める指導については、弱さがあり、指導計画の見直しをする。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○子どもたちが主体となって課題解決に向けて取り組んだり、地域と連携して多様な活動を計画したりして、探究的な学びを行わせることができた。 ▲出前講座による学習を通して、学びを深めることはできたが、系統性が整備されておらず、年間を見通した活動計画の立案が必要である。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">B</div> 73.1%
7. 特別活動	所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる	<p>【令和3年度課題】 ▲委員会活動が単発となっており、子どもたち自身の思いや活動への願いが継続できておらず、生徒主体の活動を実施する必要がある。 対策：児童生徒自身に学級内の課題を見出させ、その解決に向けて取組を行わせたり、話し合いを行わせたりして、よりよい生活に向けて児童生徒の主体的な態度を引き出す。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○いじめは絶対にゆるさないという認識を職員と児童が共通してもち、指導することができた。一人一人の良さが発揮できる場面を多く設定することで、よりよい人間関係を築かせることができた。 ▲委員会活動など、教師の提案による受け身になっている活動がある。委員会活動については、子どもたちが主体的に活動を考えるなど、自治的な活動を仕組む必要がある。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">A</div> 78.4%

領域	重点目標	成果(○)と課題(▲)	評価
8. 生徒指導	共感的な理解に徹し、よりよい人間関係の形成と自己指導能力を育てる	<p>【令和3年度課題】 要支援児童や保護者の対応に難しさを感じている教員が多くいるため、職員研修等を通して、特別に配慮を要する児童生徒への指導力を身に付ける必要がある。 対策：児童生徒についての情報交換をしたり、ケース会議を開いたりして、配慮の必要な児童生徒の思いや家庭状況等を踏まえた支援を行う。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○毎週、児童生徒についての交流を行い、他の学級の児童生徒の様子についても共通理解を図り、職員間で共通認識をもってより良い人間関係を築くための指導を行うことができた。 ○教育相談アンケートを生かして一人一人の困り感に応じて児童生徒を見守ることで、安心して生活させることができた。 ▲登下校時のトラブルや特性のある児童生徒が関わる問題行動があるため、個の特性に応じた対応と保護者との連携がさらに必要である。</p>	<div style="text-align: right;"> A 83.7% </div>
9. キャリア教育	社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育てる	<p>【令和3年度課題】 ▲キャリアパスポートへの記入を充実させるなどしたため、自分の夢や近い将来の生き方を考えることが指導を充実させる必要がある。 対策：キャリアパスポートを活用し、各ステージにおける振り返りや今後の展望について考えさせる機会を設定し、職業観を持たせるための指導を計画的に行う。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○職業講話では、日常生活の中で知ることができない職業に触れさせることができ、幅広い職業観を感じさせ、社会的な自立に向けて必要な資質を学ばせることができた。 ▲キャリアパスポートの活用は定着しているが、児童生徒が書いた内容と学級活動とを連動させ、活用させることができるようにする必要はある。</p>	<div style="text-align: right;"> B 69.6% </div>
10. 健康・安全教育	運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる	<p>【令和3年度課題】 ▲コロナ禍もあり、体力の低下が見られる。感染症対策に十分留意しながら、可能な限りで運動できる授業を仕組んでいく必要がある。 対策：国や県のガイドラインに基づいて、可能な限りの児童生徒の運動機会を設定する。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○健康チェックカードを活用して、日々の自己の健康への意識を高めることができた。家庭の理解と協力により、感染症の予防への意識を高めることができた。 ▲児童生徒の体力低下が懸念されるため、体育の準備運動などにACP活動（体を動かす運動）を取り入れるなど、運動量を確保し、運動を通して子どもたちが健康な生活を送ることへの意識を高める必要がある。</p>	<div style="text-align: right;"> A 79.6% </div>

領域	重点目標	成果(○)と課題(▲)	評価
11. 特別支援教育	一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる	<p>【令和3年度課題】 ▲通常学級の中で生活するインクルーシブ教育をさらに充実させ、交流学級等を通じて社会参加を促す指導が必要である。 対策：特別支援コーディネーターを中心として、通級指導担当教員と学級担任がチームとして支援し、個に応じた支援を行う。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○特別支援コーディネーターを中心として、一人一人の教育的ニーズを正しく理解し、保護者と連携した支援体制を構築し、自立に向けた支援を行うことができた。 ▲一人一人の支援計画を生かし、職員間で共通理解を図り、支援を計画的かつ組織的に行っていく必要がある。</p>	<div style="text-align: center;">A</div> 79.6%
12. ふるさと教育	ふるさと(地域・安八町・岐阜県)への誇りや愛着を育てる	<p>【令和3年度課題】 ▲学校運営協議会と協力して、ふるさとをよく知る方々から歴史や文化などを知る機会を設定していく。 対策：地域の方との交流の場を設定し、地域の方からふるさとの魅力や地域の方との交流する楽しさについて感じさせることで、地域への愛着を育てる。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○コミュニティスクールと総合的な学習の内容を接続させ、地域の学校の特色を取り入れた指導を実施し、ふるさとへの誇りや愛着を持たせることにつながる指導をすることができた。 ▲ふるさと教育としての取組については、学校により差が生じた。 ▲地域の方を招聘し、話を聞く機会をより多く設定するため、地域人材リストを作成するなど、地域の人材を活用した取組がさらに必要である。</p>	<div style="text-align: center;">B</div> 69.8%
13. 人権教育	相手の立場や権利を重んじ、正しい認識に立って公正・公平に判断し行動できる児童・生徒の育成	<p>【令和3年度課題】 ▲人権教育の観点を明確にした授業実践を行うことが必要である。 対策：ちょボラ（簡単に参加できるボランティア）、ひびきあい活動、集会等様々な活動を通して、人権教育の観点を意識した活動を道德等の授業の中に取り入れる。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○人権週間におけるひびきあい活動を通して、他者のよい姿を意識させることができ、年間を通して、温かい言葉を互いにかけてあう雰囲気を作り出すことができた。そのことにより、相手の思いを考えた行動を醸成することができた。 ▲場当たりの仲間よさ見つけになっているため、計画的・意図的な指導を実施する必要がある。 ▲人権に関わる学校の取り組みを保護者や地域に発信し、保護者や地域と連携しながら、人権意識を高めていく必要がある。</p>	<div style="text-align: center;">A</div> 78.0%

生涯学習・社会教育

領域	重点目標	成果(○)と課題(▲)	評価
1. 家庭の教育力の向上	学びのある家庭教育学級を通じた家庭教育力向上	<p>【令和3年度の課題】 ▲家庭教育支援体制を充実させること(支援員、アドバイザー等の発掘や育成)ができなかった。 対策:乳幼児から小中学校での家庭教育学級など、幅広く支援体制を築いていく。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○こども園担当課の福祉課及び保健センターと連絡をとり、家庭教育支援について同一歩調で研修を実施できた。 ▲対面での活動や集会形式の場は以前のように多く設定・実現することができなかった。 家庭教育支援員、アドバイザー等の発掘や育成については、組織化することができなかった。今後も、乳幼児から小中学校までの幅広い支援体制を築いていく必要がある。</p>	<p style="text-align: center;">C</p> <p style="text-align: center;">59.5%</p>
2. 地域社会の教育力の向上	社会教育団体との連携の強化	<p>【令和3年度の課題】 ▲各校に学校運営協議会を立ち上げ活動をすすめたが、地域学校協働活動としての価値付けが弱かった。 対策:地域学校協働活動推進本部を中心に、地域づくり型生涯学習を展開できるよう関係団体の連携を強める。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○各小中学校に学校運営協議会を設置し、CSとしての活動が活発に展開できようになった。地域・校区的特徴を生かした活動も展開できた。 ▲学校からの依頼や学校サイドの要望に応える形での活動が多く、地域・関係団体の当事者意識を高めていくことが難しかった。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p style="text-align: center;">65.6%</p>
3. 子どもたちを見守り育む環境づくりの推進	青少年育成関係団体の主体的な活動への支援	<p>【令和3年度の課題】 ▲コロナ禍により、少なからず活動が中止となった。 コロナ対策を行い、講座や活動をつづけていく必要がある。 対策:感染症対策をしっかりとった上で、利用者が安心して利用してもらえるよう対策をし、PRしていく。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○町内の小学生また町外の方など数多くの人に天文台、プラネタリウムを利用してもらった。 ○歴史民俗資料館では、町内3小学校5年生に卯年にちなんだ作品を提供してもらい、多くの方に来場してもらった。 ○ハートピア安八天文ボランティアによる天文イベント(夏の星まつり、星見会、天文教室)を実施し、内容の充実を図ることができた。 ▲まだ、日常の制限下の中で利用者の減少傾向がみられた。感染症対策をしっかりとった上で、利用者が安心して利用してもらえるよう対策をとる必要がある。 ▲「思いやりのある町づくり運動」や「1家庭1ボランティア活動」・「話そう!語ろう!わが家の約束」運動など町や県と連携して進めるべき活動が不十分で、各家庭・地域に浸透させることができなかった。</p>	<p style="text-align: center;">C</p> <p style="text-align: center;">59.7%</p>

領域	重点目標	成果(○)と課題(▲)	評価
4. 主体的な学習活動への支援	<p>地域社会における人材の情報の収集、活用の推進</p> <p>中央公民館・ハートピア安八等生涯学習施設による学習機会の充実</p> <p>図書等図書館資料の幅広い収集と提供</p> <p>安八つたえ話やてるて姫伝説の紙芝居を活用した取り組みの推進</p>	<p>【令和3年度の課題】</p> <p>▲学習の場の数は十分とは言えず、更に多くの児童生徒に歴史民俗資料や郷土の先人に触れる機会を提供していくことが課題として残る。</p> <p>対策:コロナ禍に対応しながら、現状に即した講座・教室などの開設し、幅広い学習の場を確保する。</p> <p>【令和4年度成果と課題】</p> <p>○小中学生を対象とした出前講座や施設見学を中心に、学習の場を提供することができた。</p> <p>○様々な制約の中でも、可能な範囲で工夫しながらサービスの提供はできた。</p> <p>▲コロナ後を見据え、対面のイベント(読み聞かせなど)の開催を工夫し、新たな教室・講座の展開を模索していく必要がある。</p> <p>▲今後、更に講座を充実させるため、講師を依頼できる人材を確保・養成していく必要がある。</p>	<p style="text-align: right;">B</p> <p>73.8%</p>
5. 人権尊重の教育の推進	<p>生涯学習講座、家庭教育学級、出前講座等での人権学習の位置付け</p>	<p>【令和3年度の課題】</p> <p>▲計画はあったものの活動自体に制限がかかり、人権学習そのものの進展はあまりみられなかった。</p> <p>対策:各種講座での人権擁護委員等の講話やふれあい体験活動を仕組むことにより多くの場で人権教育に関する情報提供や学習機会を増やしていく。</p> <p>【令和4年度成果と課題】</p> <p>○生涯学習講座、家庭教育学級、出前講座等での人権学習の位置付けを明確にした企画ができた。</p> <p>▲本年度は、まだ活動自体に制限がかかり、人権学習の実践ができなかった。</p>	<p style="text-align: right;">C</p> <p>55.0%</p>
6. スポーツ振興	<p>親子・三世代を対象にした家庭参加型プログラムの提供</p> <p>健康の維持・促進のためのスポーツ教室の開催</p> <p>スポーツ施設の管理・調整と利用促進各種スポーツ事業、行事・研修会等の広報活動の充実</p>	<p>【令和3年度の課題】</p> <p>▲時間制限や開催制限があり、活発な活動へと繋げていくことができなかった。安全に留意しつつ、実現可能なイベント形態を探っていく必要がある。</p> <p>対策:町民のニーズや現状に即したプログラムの提供をめざし、各種団体と連携して、イベント・講座を企画し、充実を図っていく。</p> <p>【令和4年度成果と課題】</p> <p>○競技スポーツの支援・激励は成果があった。また、施設(テニスコート)が改修されたことにより、利用者の利便性が向上した。</p> <p>▲依然として、スポーツイベントの開催は難しく、推進できなかった。また、施設や器具・用具の老朽化や故障に伴う利用制限があった。</p> <p>▲スポーツ推進のためには、幼少期からのきっかけづくりが必要であるため、こども園や学校との連携を強固にしたい。</p>	<p style="text-align: right;">C</p> <p>60.3%</p>

領域	重点目標	成果(○)と課題(▲)	評価
7. 文化芸術活動の振興	ジュニア文化サークルの学習、体験活動、学習発表会の充実 文化団体の育成と支援	<p>【令和3年度の課題】 ▲文化育成の伝統として活動を続けてきたジュニア文化サークルの活動を、参加者の安全を確保しつつどのように実現していくかを探っていく必要がある。 対策：ジュニア文化サークル、短期教室、文化事業など、現状に合わせて、魅力ある企画と内容の充実を図る。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○ジュニア文化サークルの活動は、多くの参加があり、好評であった。残念ながら、その成果を発表・披露する場はなかった。 ▲今後も年齢を問わず、幅広く町民が文化的イベントに関わることができる機会を確保していく必要がある。</p>	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">C</div> 62.1%
8. 文化財や伝統芸能の継承・発展	町民のニーズにあった企画運営や多角的な文化情報提供の推進	<p>【令和3年度の課題】 ▲常設展示の入れ替えなど展示資料の鮮度を維持していくことが課題。 対策：町民の関心を高めるための魅力ある展示の工夫と資料館の見学や資料貸出の機会を増やしていく。</p> <p>【令和4年度成果と課題】 ○次世代へ文化・伝統を伝える活動・展示は継続的に実施できた。 ▲講師として語っていただく方の高齢化と人員減が深刻である。後継者の育成と引継の必要性がある。</p>	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">C</div> 57.3%